

2018年3月期 決算説明会

(2017年4月1日～2018年3月31日)

株式会社 精工技研

2018年 5月15日

- I. 2018年3月期 連結決算概要
- II. 今後の事業展開
- III. 2019年3月期 連結業績見通し

2018年3月期 連結決算ハイライト①

(百万円)	2018年3月期	2017年3月期	対前期増減率	業績予想値 (2017/5/12)
売上高	13,547	12,644	+ 7.1%	13,100
精機部門	7,686	7,481	+ 2.7%	7,450
光製品部門	5,860	5,162	+ 13.5%	5,650
営業利益	930	1,065	△ 12.7%	940
経常利益	1,053	1,164	△ 9.5%	1,050
当期純利益	914	800	+ 14.2%	920

2018年3月期 連結決算ハイライト②

(百万円)	2018年3月期	2017年3月期	対前期増減率
受注高	13,663	12,875	+ 6.1%
受注残	1,759	1,643	+ 7.1%
設備投資	1,171	957	+22.4%
減価償却費	1,238	1,158	+ 6.9%
研究開発費	429	374	+ 14.7%

主要製品・主要技術／精機部門

◆ 金型

アーカイブディスク金型
その他 精密金型



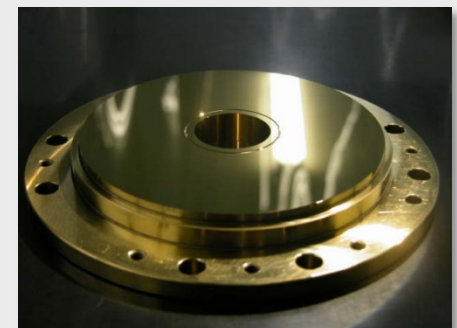
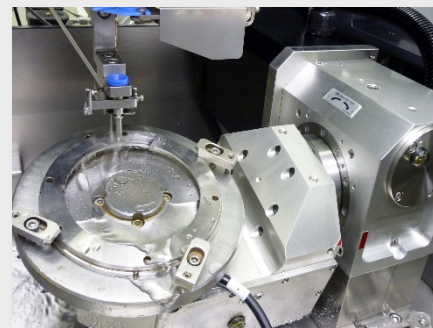
◆ 成形品

車載用インサート成形部品
金属プレス成形部品
樹脂射出成形部品 等



◆ その他

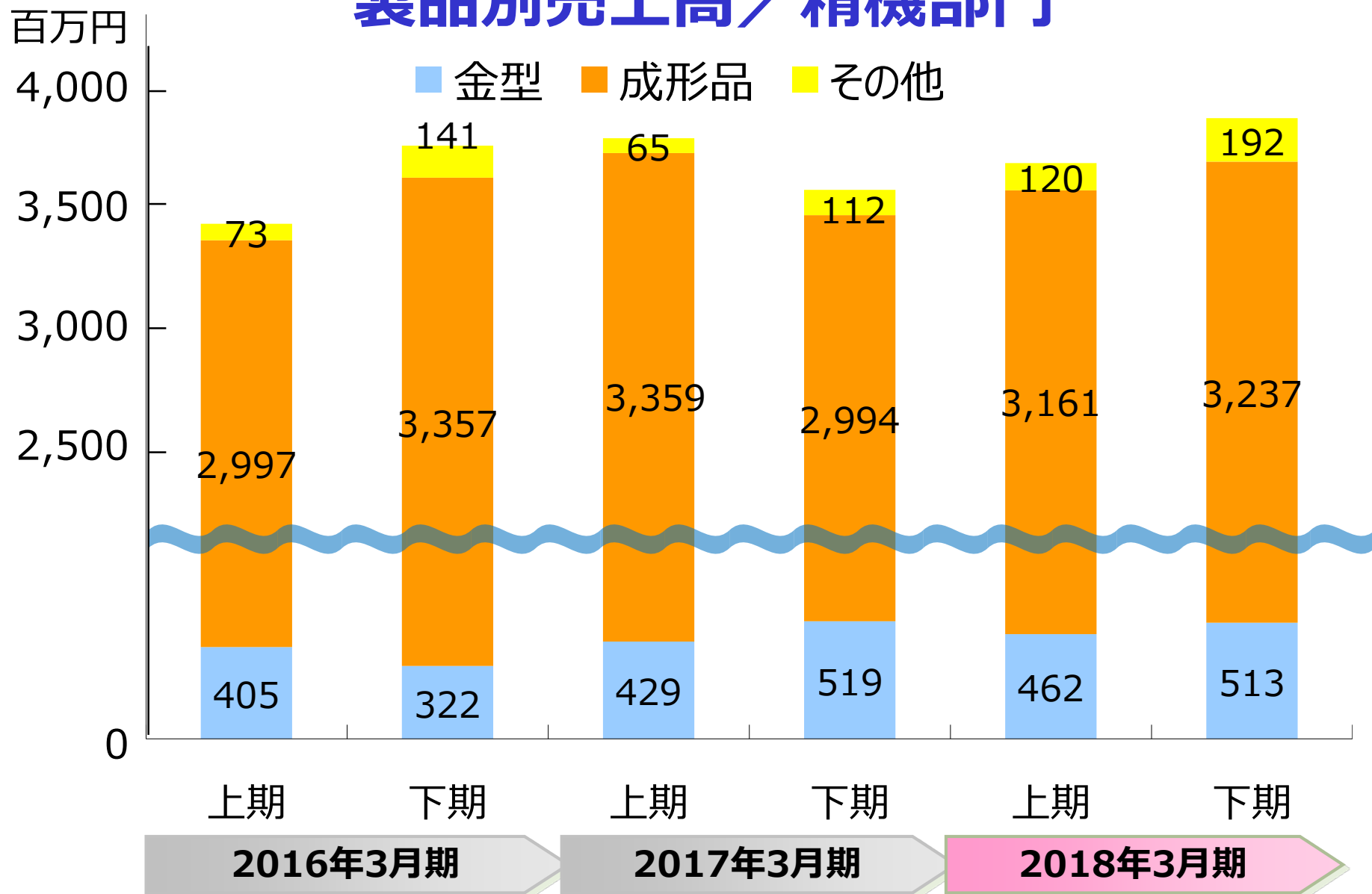
精密金属加工部品 等



セグメント業績／精機部門

(百万円)	2018年3月期	2017年3月期	対前期増減率
売上高	7,686	7,481	+ 2.7%
営業費用	7,193	6,923	+ 3.9%
営業利益	493	558	△ 11.6%
営業利益率	6.4%	7.5%	—

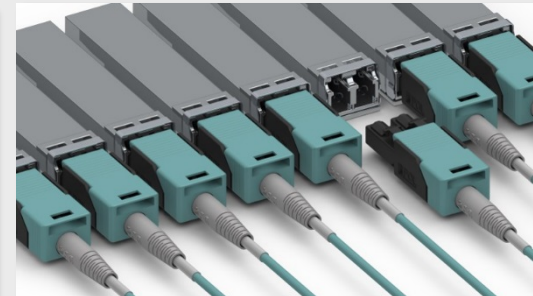
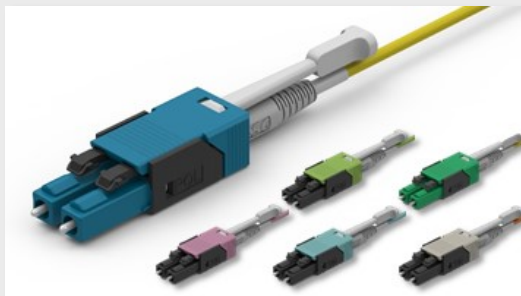
製品別売上高／精機部門



主要製品・主要技術／光製品部門

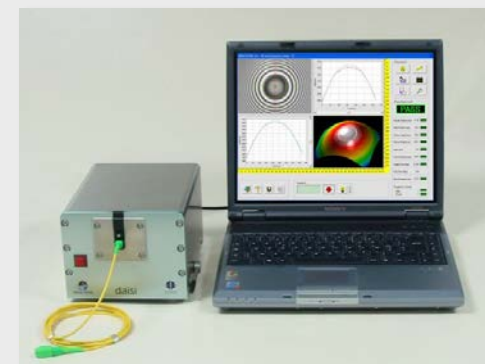
◆ 光通信用部品

光コネクタ
フェルール 等



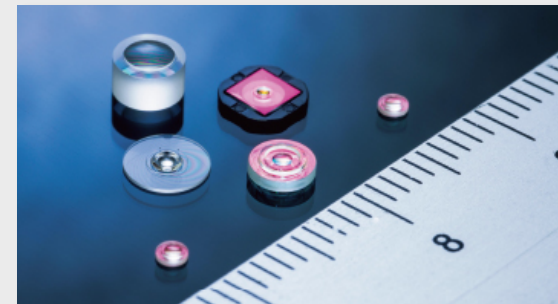
◆ 製造機器・装置

光コネクタ研磨機
光コネクタ端面検査装置
光電界センサー 等



◆ その他

超小型レンズ 等

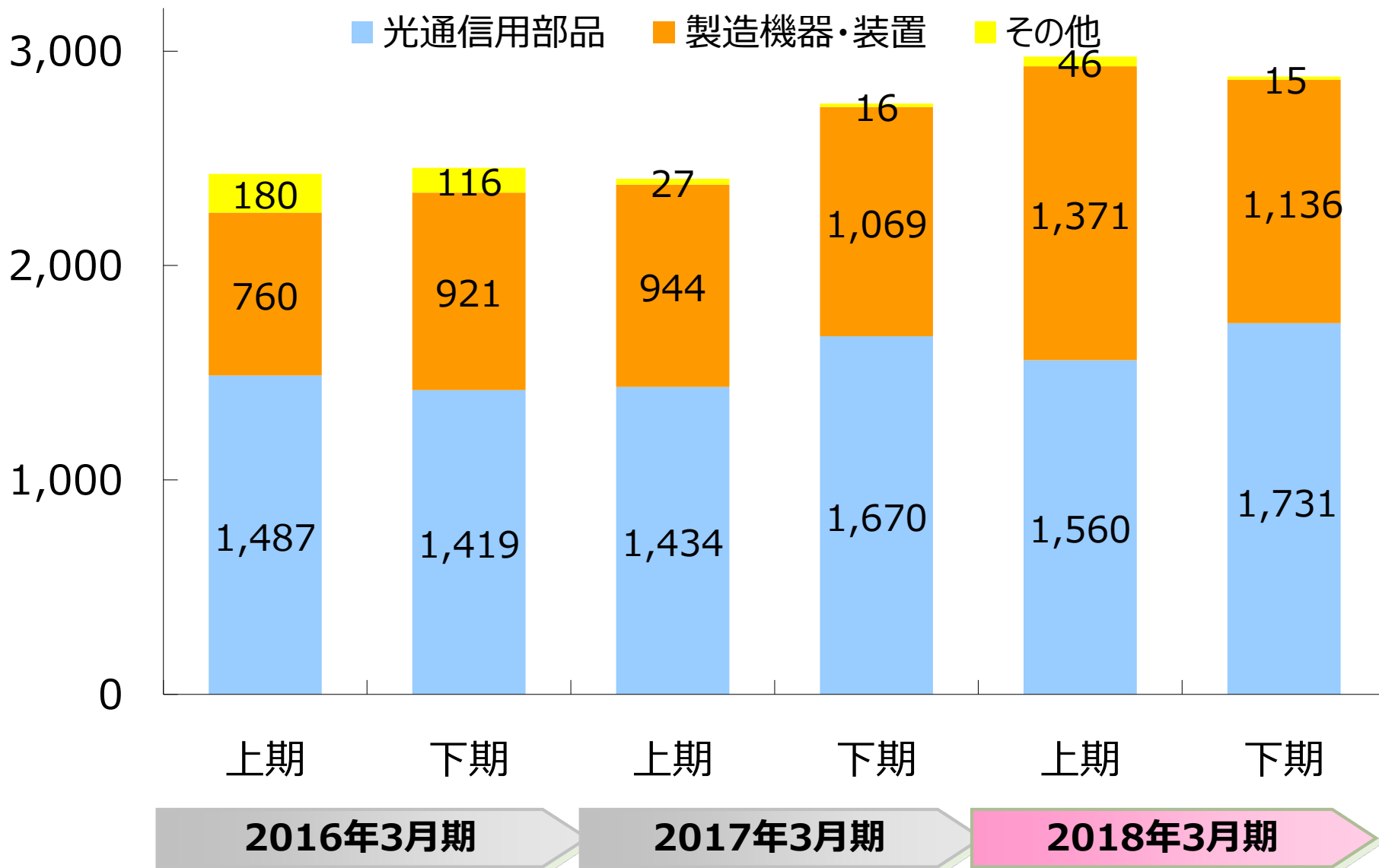


セグメント業績／光製品部門

(百万円)	2018年3月期	2017年3月期	対前期増減率
売上高	5,860	5,162	+ 13.5%
営業費用	5,424	4,656	+ 16.5%
営業利益	436	506	△ 13.8%
営業利益率	7.4%	9.8%	—

製品別売上高／光製品部門

百万円



連結貸借対照表

(百万円)

＜資産の部＞	2018年3月期	2017年3月期	増減額
流動資産	16,043	14,954	+ 1,089
固定資産	10,313	10,071	+ 241
資産合計	26,357	25,026	+ 1,330
＜負債及び純資産の部＞			
流動負債	2,688	2,425	+ 262
固定負債	1,183	1,033	+ 150
純資産	22,484	21,567	+ 917
負債純資産合計	26,357	25,026	+ 1,330

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	2018年3月期	2017年3月期
営業キャッシュ・フロー	2,086	1,817
投資キャッシュ・フロー	△2,706	△393
財務キャッシュ・フロー	△185	△123
現金増加額	△761	1,238
期首残高	4,066	2,828
期末残高	3,305	4,066

- I. 2018年3月期 連結決算概要
- II. 今後の事業展開**
- III. 2019年3月期 連結業績見通し

中期経営計画 マスタープラン2016

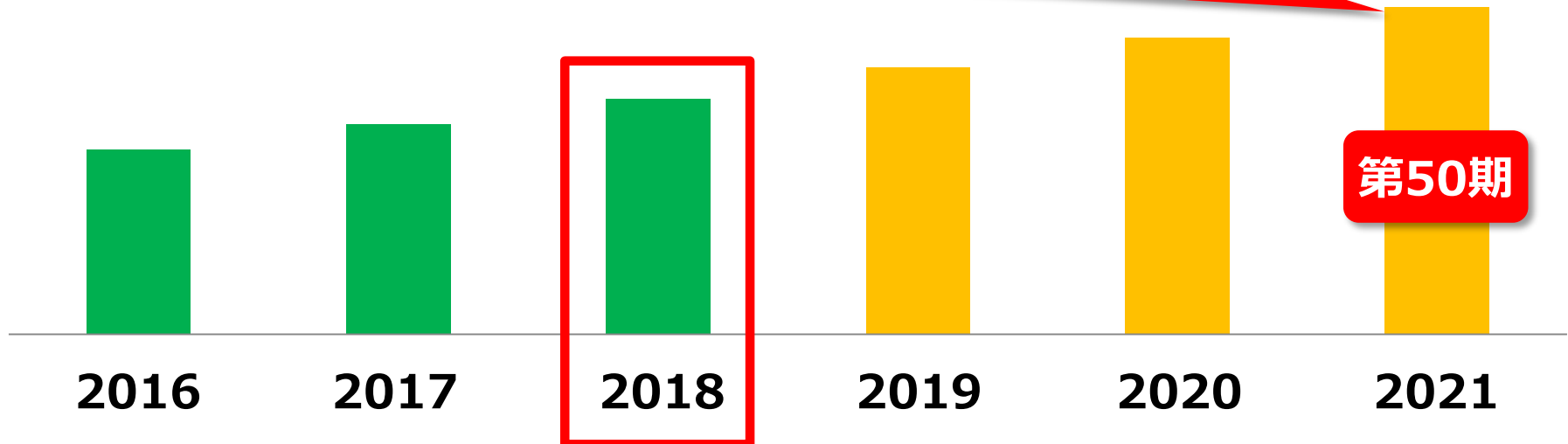
■ 第50期となる2021年度を最終年度とする6ヶ年中期計画

マスタープラン2016
2016年度～2021年度

第1フェーズ
2016～2018

第2フェーズ
2019～2021

連結売上高 250億円 連結営業利益 25億円以上



第1フェーズの基本戦略

■ 2016年度～2018年度 基本戦略

1 既存事業の収益力強化

- 販売力の強化
- 価格競争力の強化
- 新製品・新技術開発の加速

2 事業ポートフォリオの最適化

- 次世代事業の創出
- 不採算事業の合理化

3 経営基盤の強化

- 人財力の強化
- 成長への投資
- 経営管理の強化

1 既存事業の収益力強化

■ 精機事業

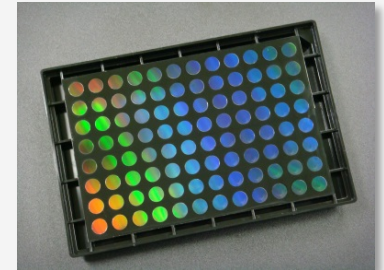
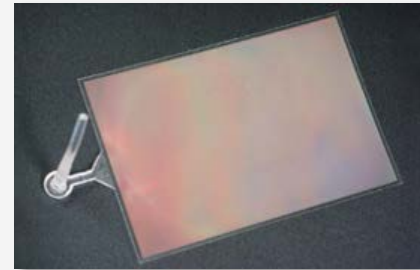
精密金型と製造技術を核に、付加価値の高い成形品ビジネスへ

■ 販売力の強化・価格競争力の強化

- ・ 千歳工場の量産加速
- ・ 既存主要顧客との関係強化
- ・ アーカイブディスク金型への注力
- ・ リピートビジネスの獲得
- ・ 海外優良外注の開拓

■ 新製品・新技術開発の加速

- ・ 成形品新規ビジネスの早期立上げ
⇒ 自動車関連、医療バイオ関連
- ・ 精密金型技術、薄肉成形技術、
微細転写技術の向上



1 既存事業の収益力強化

■ 光製品事業

成長するデータセンターと5G関連市場でシェア拡大を図る

■ 販売力の強化・価格競争力の強化

- ・ データセンター向けコネクタの拡販
- ・ 多心対応の新型コネクタ、
新型光コネクタ研磨機の拡販
- ・ 部品内製化、生産自動化による
生産性の向上

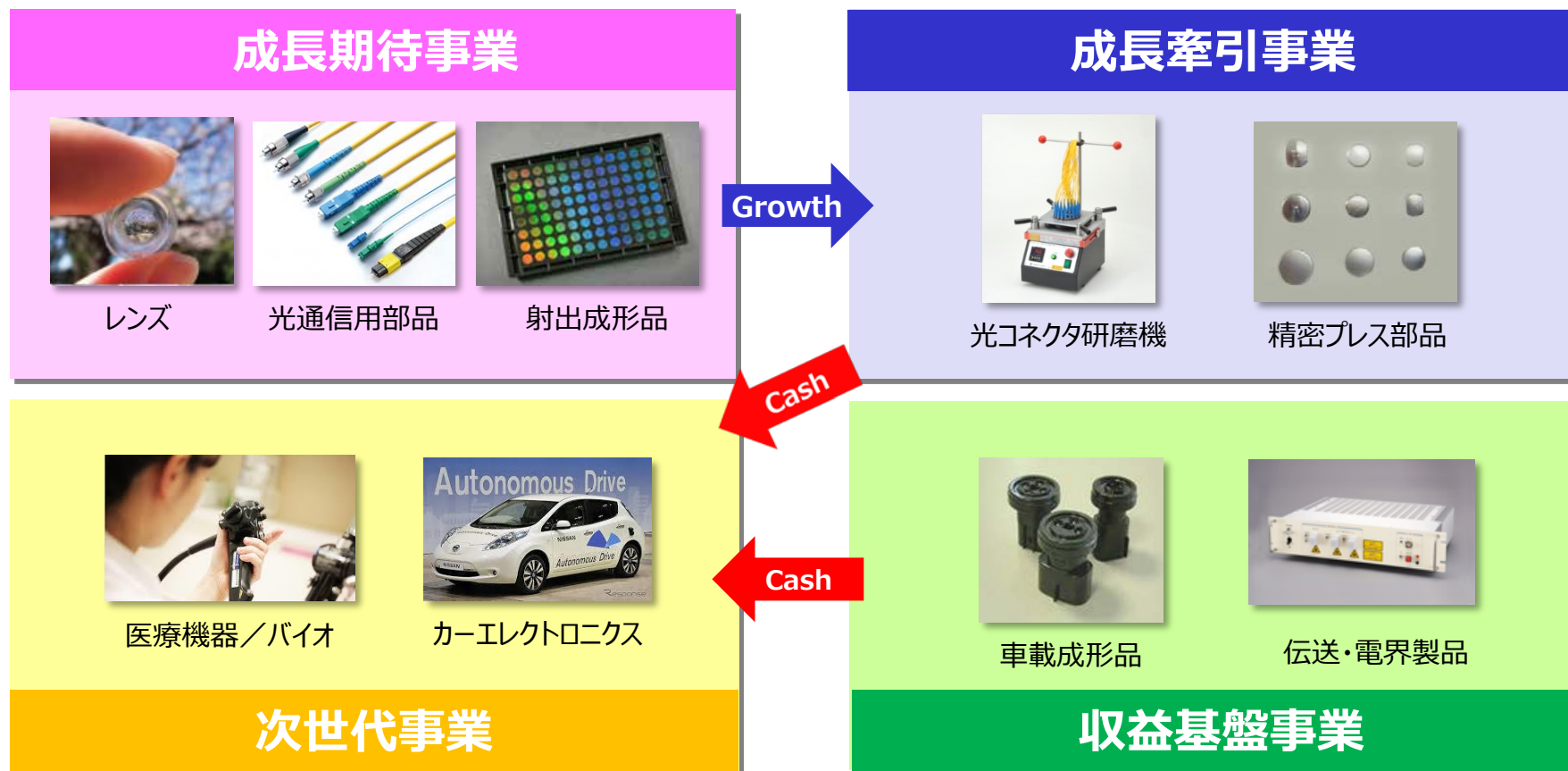
■ 新製品・新技術開発の加速

- ・ 100G、400G大容量高速通信
対応光コネクタの開発加速
- ・ 第5世代移動体通信（5G）
対応の光電界センサー開発
- ・ 3Dセンサー用超小型レンズ量産化



2 事業ポートフォリオの最適化

■ 次世代事業の創出／不採算事業の合理化



- 「成長期待事業」の収益創出に取り組み、「成長牽引事業」へと移行させる
⇒ 収益化が困難な不採算事業は合理化を実施
- 「成長牽引事業」と「収益基盤事業」で獲得したキャッシュを「次世代事業」の創出に充てる

3 経営基盤の強化

■ 持続的な成長を支える、強固な経営基盤の確立

■ 人財力の強化 ～ 全社員が有する能力を100%発揮できる組織に ～

- ・「労働時間短縮」と「業務効率向上」による働き方改革を推進
- ・業績連動インセンティブで企業価値向上とモチベーションを連携

■ 成長への投資 ～ 投資機会を積極的に追求 ～

- ・ 2021年度までの戦略投資規模 ⇒ **100億円規模**を想定
- ・ M&Aやアライアンスを積極的に模索

■ 経営体制の強化 ～ 企業価値の継続的な成長を実現するための経営体制 ～

- ・ グループ内の連携強化により、シナジー創出を加速
- ・ 執行役員制度の導入により現場での意思決定のスピードアップ

- I. 2018年3月期 連結決算概要
- II. 今後の事業展開
- III. 2019年3月期 連結業績見通し**

2019年3月期 連結業績見通し

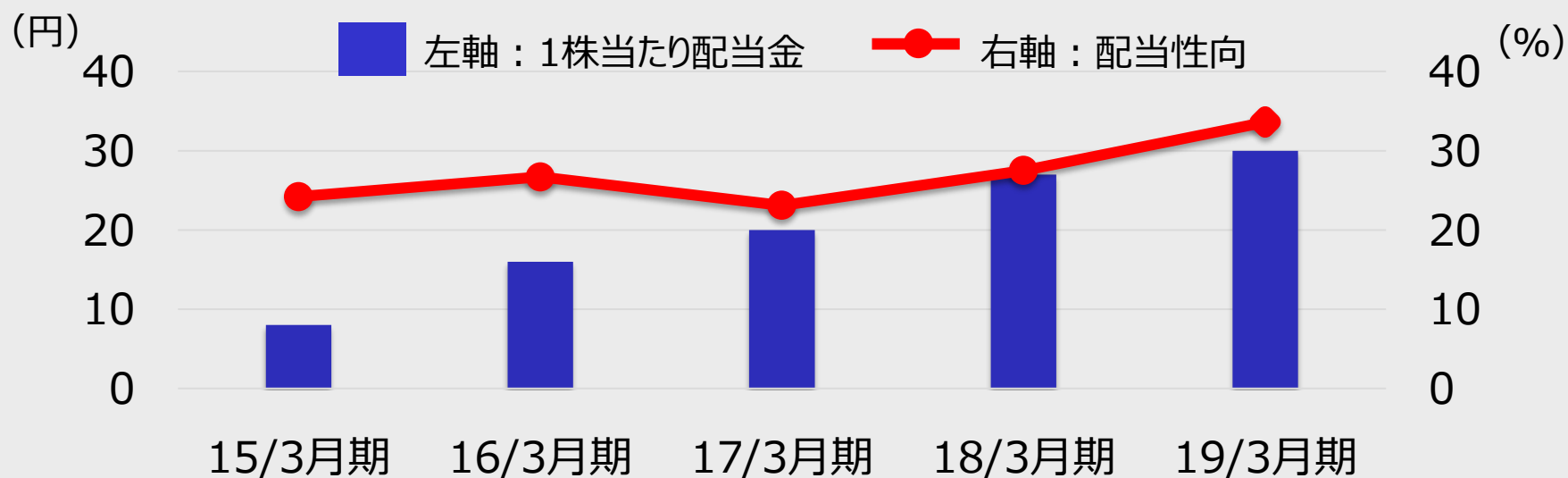
(百万円)	上半期	下半期	19/3月期 見通し	18/3月期 実績
売上高	7,000	7,500	14,500	13,547
営業利益	550	600	1,150	930
経常利益	580	620	1,200	1,053
当期純利益	400	430	830	907
設備投資			1,655	1,171
減価償却費			1,354	1,238
研究開発費			460	429

2019年3月期 連結業績見通し（部門別）

（百万円）	上半期	下半期	19/3月期 見通し	18/3月期 実績
精機関連				
売上高	3,900	4,100	8,000	7,686
営業費用	3,590	3,820	7,410	7,193
営業利益	310	280	590	493
光製品関連				
売上高	3,100	3,400	6,500	5,860
営業費用	2,860	3,080	5,940	5,424
営業利益	240	320	560	436

株主還元について

		19/3月期 見通し	18/3月期 実績	17/3月期 実績
当期純利益	百万円	830	914	800
1株当たり配当金	円	30	27	20
配当性向	%	33.6	27.5	23.1



ご清聴 ありがとうございます。